



前期児童会役員による番組「けやきTV」

新型コロナウイルスの影響を受け、様々な行事等が中止や縮減される中、前期の児童会役員は考えました。「今、自分たちにできることは何か」と。

そして取り組んだのが「けやきTV」です。これは、児童会役員が番組の企画を考え、撮影・編集したものを東山小学校のみんなに見て楽しんでもらう動画コンテンツの配信です。コンテンツをサーバーにアップし、それを学級の都合の良いときに視聴してもらいます。こうすることで「密」を心配せず、楽しんでもらえます。

第1回の「けやきTV」は、本年度新しく本校に赴任した先生にスポットを当てたインタビュー動画です。番組を作ることに慣れていないこともあり、苦労も多かったようですが、何とか第1弾の番組を完成させることができました。一度経験すると、新たなアイデアも浮かんでくるようです。反省を含め、後期の児童会役員とも上手に連携し、楽しい番組作りに取り組んでくれることを期待しています。



9月18日 後期の児童会役員選挙（ビデオ演説・投票）

今回の選挙は、例年のような立ち会い演説会ではなく、事前に撮影したビデオ演説を見て、教室で投票する形式にしました。東山小学校のために何かしたいと考える、会長に1名、副会長に3名、書記に5名、合計9名が立候補しました。

どの子も、コロナの影響を受ける中、みんなが楽しく過ごすことができる学校となるよう、児童会行事等を提案してくれました。結果は下表の通りです。当選者は、惜しくも落選した子たちの思いも汲んで、みんなのためにがんばってください。本選挙を支えた選挙管理委員の頑張りにも感謝します。【ビデオ演説視聴中】→

役職名	後 期 児 童 会 役 員			
会 長	○-○	○○	○○	
副会長	○-○	○○	○○	○-○ ○○ ○○
書 記	○-○	○○	○○	○-○ ○○ ○○





◆動画「ウイルスの次にやってくるもの」◆

上記タイトルは、日本赤十字社が「新型コロナウイルス感染症への不安や差別が自らの感染を隠すことにつながり、感染拡大を引き起こすと考えられている。更なる感染拡大を防ぐために役立てば」との考えで作成した動画です。

「恐怖」に飲み込まれないようにするための考え方が示されています。ここで示されている考え方は、コロナだけではなく、子どもたちを含め、私たちが直面する様々な課題（恐れや心配、極度の緊張等を強いられる出来事）から、自分の心を守る考え方としてもとらえられるものだと思います。動画URLをQRコードにしておいたので、一度、ご覧ください。（動画URL：<https://www.youtube.com/watch?v=rbNuikVDrN4>）



Looking back for けやきっ子

奥村 静香： 授業参観の内容について、ずっと決められずに悩んでいた。「こんな風にしようかな」「この単元でやってみようかな」とぶつぶつ言っていると、隣の先生が「どうやるんですか」と聞いてきてくれて、そこから雑談しながらアイデアがポンポンとわいてきた。こんな風に誰かにアウトプットしたり、思ったことをすぐに言い合ったりすることで高められている気がする。

石川(教頭)： 相談や雑談の中にヒントがあり、考えが整理されていくときがありますね。そういった時間は貴重です。



Tōzai Art Gallery

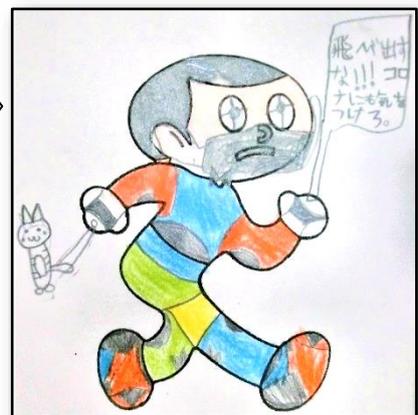
東西画廊

【作品例】

○○ ○○○

ワークショップ『とび太くんを変身させよう』

＜解説＞ 「とび太くん」は、道路の脇に立ち、運転者に対して「子どもの飛び出し」について注意喚起している看板です。ステイホームルームワークショップとして、「とび太くん」を変身させました。※他の作品は本校アートスペース「コッソリ」に掲示中です。授業参観の折にでもご覧ください。



ココン東西

歳をとったせいかわ、自分が経験してきたことが今の仕事にどうつながっているか、その意味を考えてしまう。人生を振り返ると大きく三つのポイントがある▼一つは子どもの頃、喘息で苦しんだこと。このことが人格の形成や人との関わり方に影響を及ぼした。それにより今は、人間の弱さに対する認識や対応の仕方等について生かされている▼二つ目は図工・美術が専門教科であること。教科の特性でもあるが、個性を尊重することや物事が多面であること、何よりモノを作り出す、創造することの面白さを学び、教師として伝えたいことの基となっている▼最後に水泳。体を丈夫にできるかと思いきや中高と水泳部だった。でも正直水泳をしてきた意味は分からなかった。が最近やっと納得できた。よくプールでも使う塩素系の薬品で消毒作業をしているが、その臭いに強い。コロナとつながっていたとは。